

震災から2年以上経過しました。被災地では以前に比べると復旧工事が格段に増えています。少しの変化でも浜の皆様を明るくします。そうはいつでも不自由な生活、当たり前の生活にはまだまだほど遠いのが現実です。浜の皆様から「助かります」と心から言われる状況が続く限りボランティア活動が続けていきたいと思ひます。引き続きの応援をよろしくお願いします。

英国人キャロラインさん

笑顔咲かそう桜大作戦

桜の苗の引き抜き作業

「桜の苗 5000 本を今年 4 月までの限定だが東北の人たちのために使って欲しい」とある議員の方から提案されました。東北を含め多くのボランティア団体に声を掛けました。私は例えば数本単位でも現地の皆さんと一緒に植え「5 年後にはみんなで花見をしようよ」と会話が弾むような夢のある活動にしたいと思ひました。



引き抜いた苗を積み終え記念写真
～苗木のある鹿沼市の山中で

私たち龍 JIN は金華山&牡鹿地区に経済支援の復興ツアーを計画していたので金華山の下見を兼ねて数か所植えに行くことにしました。

桜は新芽が出る前の3月初めが植樹に適していると聞いて3月2日に抜いて次の日に植えに行く計画を立てました。今回の話を聞いて石巻市牡鹿地区大原浜の石森区長さんと英国人のキャロラインさんが栃木県まで採りに来たいと連絡がありました。折角なので3月2日に龍 JIN と協力して楽しく引き抜き作業を行うことにしました。

大原浜では津波が押し寄せた地点に等間隔で植えたいと石森区長さんが話してくれました。本来であれば届けてあげたいのに申し訳ないと何度もお詫びしました。応援が必要な時は駆けつけることを約束し、抜いたばかりの70本の桜を積んだトラックを見送りました。

笑顔咲かそう桜大作戦

次の日の準備をしていたところに金華山観光株から風が強いので明日の金華山行きの船が欠航する連絡が入りました。金華山の船着き場は修復が完全でなくちょっとした風でも欠航せざるを得ないと説明されました。

急遽、泊浜に加え新山浜にも植樹することとし、3月3日朝4時に活動名を「笑顔咲かそう桜大作戦」と命名し栃木を出発しました。

途中の石巻市渡波地区で観光業を営んでいる阿部さんから被災した自宅に植えたいので3軒分として5本欲しいと連絡がありお届けしました。例えば1本でも届けたいとネット上に掲示したことで心がつながったのです。



渡波・阿部さん宅にも届けました

続いて新山浜に向かいました。新山浜の植樹場所はずっと交流してきた阿部泰子さんの前の民宿泰平荘跡地です。船が欠航となる折からの強い風の中、荒地となっている跡地に5本植えました。岩盤地でとても植えるのに苦労しました。新山浜の皆様が「花見ができるといいね。楽しみだよ、ありがとう」と声をかけてくれたことがとても嬉しかったです。

阿部さんの孫娘の雅ちゃんが嬉しそうに手伝ってくれ、とても明るくなごやかな気持ちになりました。植え終わった時には太陽も顔を出し身も心も暖かくなりました。

おしかのれん街で昼食をとった後、外海の泊浜に行きました。

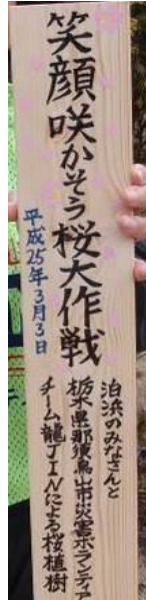
泊浜の平塚さんは植える予定地にネットを張りめぐらせ準備して待っていてくれました。牡鹿半島では桜の天敵は雨風嵐でなく鹿なのです。泊浜でも多くのお年寄りの皆さんが「ありがとね」と言ってくれました。さらに「花が咲く5年後に私は生きて花が見れるかね」などの冗談話が飛び出し「みんな大丈夫。私が保証しますよ」など会話が弾みました。

浜の人たちとみんなで花見ができる日を願いながらの楽しい植樹会でした。

今回の「笑顔咲かそう桜大作戦」第一陣は合計26本の桜植樹でしたが新芽が出る前の来年の冬季に向けてさらに増やしていく活動を続けていきます。



泊浜・平塚さんが用意周到で待っていました



新山浜・旧泰平荘跡地に孫の雅ちゃんと

震災から2年 今後の災害ボランティアを考える集い

震災から2年経過し、現地では不自由な生活をしながらも前向きに頑張っていますが家族や仕事等の将来を考えると不安になることが多く辛い思いをしている人がほとんどです。

ボランティア活動をしていると「心が折れそうになる時に全国の皆さんからの心遣いが一番嬉しく前向きに頑張る力が湧いてくるんだ」という話をしてくれます。

最近は今まで以上に被災した皆様からの熱い歓迎を受けます。ボランティアの人が減ったことなど風化が進んでいるからだと思います。行政がやるべきハード面対策は勿論必要ですが心に関するソフト面はこれから益々人生を左右するほど大切なことだと思います。

今こそ日本中のみんなが被災地の皆さんへ思いを馳せ、応援の心を届けることが必要であると強く感じ、本集いを開催し全国への発信に少しでも貢献できたらと願い準備しました。

サブテーマを龍 JIN の信条である心寄り沿う活動のイメージを大切にして「心と心 手と手をつないで 心寄せ合う結(ゆい)づくり」としました。

震災から2年 今後の災害ボランティアを 考える集い

～心と心 手と手をつないで 心寄せ合う
結(ゆい)づくり～

■主な内容 (都合により変更する場合があります)

◎シンポジウム「これからの支援を考える」

演者：那須烏山：岩子仮設住宅自治会長 曾根原勉さん
石巻・牡鹿：海の幸応援隊「JIN」泊浜代表 平塚英徳さん
石巻・門脇：石巻焼きそば味平 尾形勝壽さん
福島・富岡：郡山市若宮前仮設住宅 斎藤秀雄さん
龍 JIN：キャプテン 小堀道和
コーディネーター：龍 JIN 奥成大輔

◎支援の輪メッセージ

●活動報告及びメッセージ
◇映像 牡鹿半島の皆さんの声
◇「Aなすみなみ山田組合長」
◇ガールスカウト板木県連盟 (藤田連盟長)
◇映像「まごころ子ども親善大使活動」
◇荒川小鈴木校長先生
◇ガールスカウト、烏山クラブ、荒川小、荒川中の児童生徒による感想文や手紙朗読
◇会場からのメッセージ
◇その他～花いっぱい活動(花の種活用)

●フィナーレ～歌によるメッセージ
岡倉ゆかりさんと一緒に歌おう
～牡鹿地区支援活動の経験を通して～

B-1 グランプリ 6位!! 石巻市被災地直送
12:00～13:00 まで
石巻 焼きそば 販売 生わかめ

3/17日
12:00～15:30
那須烏山市南那須公民館
入場無料

※但し、石巻焼きそば(お茶付)を食べて500円の募金をお願いします。



共催：那須烏山市災害ボランティアチーム龍 JIN 那須烏山市 那須烏山市社会福祉協議会
協力：JA なす青、那須烏山市婦人会 (日本地産物社団)、烏山高校、那須烏山市教育委員会、ムラおこし応援団
オリオリコスベルクワイヤー、ガールスカウト板木県連盟、烏山クラブ、生きがいの輪からすやま
とちぞこ、那須川コミュニティファーム、応援金や災害支援活動へ参加協力をお願いする個人及び団体全ての皆様
お問い合わせ：那須烏山市災害ボランティアチーム龍 JIN ホームページ <http://www.nasukarasuyama.org/>
代表 小堀道和 (キャプテン) 090-1611-5491 事務局 奥成大輔 (副キャプテン) 0287-84-1477

「集い」紹介のパンフレット

特別企画として石巻市荻浜から生わかめを直送してもらい販売することと尾形さんのキッチンカーでのB1 グランプリ 6位の石巻焼きそばを実演販売することでイベントを盛り上げたいと思いました。

そのためにも石巻焼きそば味平店長尾形さんには何としても栃木に来てもらい栃木で尾形応援団を増やし、栃木県から石巻の元気さを発信できたなら一番の応援になるだろうと思いお願いしましたが笑顔で了解してくれました。



生わかめ販売担当の婦人会 市長に被災の説明をする尾形さん とちぎコープさんからペットボトルの差入

集い当日、焼きそばは飛ぶように売れ max 180個の予想をはるかに超え230個と大慌ての状態でした。また約80Kg という大量の生わかめも驚くほどの人気で販売開始20分後には完売してしまいました。

第1部シンポジウム「これからの支援を考える」

それぞれ被災内容の異なる4人の代表者に登壇してもらい震災から2年が経過し今までの経過と復興に向けた取り組み、そして全国の皆様に訴えたいことを話してもらうことでこれからのボランティア活動の在り方をみんなで考えるシンポジウムとしました。



4名の代表者によるシンポジウム

第2部「支援の輪メッセージ」

この2年間で龍JINの活動に参加してくれた多くの団体・個人の代表者にこれからの支援活動について紹介してもらうことで一人ひとりが具体的な支援活動について考えるきっかけになることを願って計画しました。



復興応援ツアー～荻浜で牡蠣の購入



まごころ子ども親善大使～新米とメッセージ届け

シンポジウム登壇者4名の紹介

焼きそば味平の尾形勝壽さん

最も被害の大きかった石巻市門脇・南浜地区で「津波に負けるものか元気印」を全国に発信続けている石巻焼きそば味平の店長です。

行方不明の奥さん愛用の焼きそばのへラが見つかったことを契機に津波で町ごと全て流出した門脇で再び焼きそば屋を始めB1 グランプリ



ガールスカウト指導者に囲まれる尾形勝壽さん

で全国6位入賞しました。彼の前向きな行動はテレビ出演依頼が現在もひっきりなしです。彼の熱血漢溢れる行動は私たちをも元気いっぱいにしてくれます。

当日も元気いっぱい復興の決意を話してくれました。

石巻市泊浜の復興応援ファンド代表の平塚さんには浜の現状と前向きな取り組みを話して欲しい

一ロー万円の復興応援ファンドを受けてくれた石巻市泊浜の漁師



平塚ご夫妻



100m以上崩壊したままの防波堤～泊浜

の皆様は、震災2年経っても復興が進まず、ファンドのお返しが出来ないことで心を痛めています。しかし今年はホタテが順調に育っており恩返しが始められると浜の皆様と笑顔で話しています。震災から2年間の経過と復興はまだまだ遠いながらも現在取り組んでいる前向きな姿を多くの人に紹介して欲しいと思いました。

福島県富岡町の齋藤秀雄さんには放射能被害と向き合っている現状を話して欲しい

福島第一原発から7Km圏内に住み震災と放射能被害をダブルで受け一時那須烏山市に避難していた龍JINメンバーでもある齋藤さんは警戒区域で立入禁止のため現在は郡山市にある富岡町の仮設住宅に住んでいます。仮設の皆様がどんな気持ちで生活していてどんな支援がありがたいかを訴えてもらうことで放射能被害者に対する本当の支援の在り方をみんなで考えるきっかけになって欲しいと思いました。

当日は、故郷富岡町がさらに辛い状況にあることを話してくれました。



齋藤秀雄さん

那須烏山市内岩子仮設住宅曾根原勉自治会長には仮設住宅閉所に向けた取り組みを話して欲しい

重いハンディキャップを持つ奥さまを支えながら温かなリーダーシップで仮設の皆様を元気付けてきた曾根原自治会長には仮設住宅閉所に向けて市内の皆様へ伝えたいことを話して欲しいと思います。

当日は、支援していただいた皆様への感謝の気持ちを話されました。



曾根原勉さん

第1部 シンポジウム「これからの支援を考える」を終えて



復興に関してはそれぞれの被災地で明るいきざしはあるものの基本的な状況は変わっておらず心が折れそうになることはこれから益々増えてくることが予想されるため全国のみんなが心寄り沿う気持ちを伝え続けることが大切であることを参加者全員で改めて共有しました。

特に福島の問題は解決までの時間も含めてとても深刻でこれから益々心の支援が重要になると思います。

どんな具体的な支援ができるのか悩みますが話をきいてあげることや風評に惑わされることなく買い物をするなど例え小さなことでも多くの方が思いを寄せた行動を継続すれば大きな力になると信じています。



サブテーマ「結」の周りに参加者の寄せ書きをしてプレゼントしました。

第2部「支援の輪メッセージ」では団体の代表者が活動に参加した感想とそれぞれの長所を生かしてこれからも龍JINと協力して支援活動をしていきたいと話されました。



互助・共助の精神で農産物の提供等、継続して支援していきたい～ J A山田組合長



被災地での花壇づくり等、ガールスカウトの人づくりのためにも積極的に活動していきたい～藤田連盟長



多くの活動に参加した感想を発表するガールスカウトの子どもたち～小川萌香さんの作文も紹介しました



まごころ子ども親善大使に参加した感想を発表する荒川中の小松兄弟



ずっと交流を続けている烏山クラブの子どもたちと平塚さん

お知らせ
本集いの様子はとちぎ放送のブログに詳細に紹介されています。見てください。
http://crt-radio.blog.ocn.ne.jp/nasukarasuyama/2013/03/317_6979.html



岡倉ゆかりさん

結(ゆい)の心を膨らませる全員での合唱「ふるさと」

最後に歌手の岡倉かおりさんに登場してもらい地元荒川小学校の子どもたちと会場の全員で「ふるさと」を歌って結(ゆい)の心をさらに大きく膨らませ温かさを実感しながら閉会しました。



一生懸命練習した歌をプレゼントしてくれた荒川小25名の児童と先生方



最後は会場の全員で手と手をとって「ふるさと」を合唱～岡倉ゆかりさんの指揮で

「集い」のまとめ

延べ200名超と予想を超える多くの人の参加をいただき震災2年の集いを開催できました。シンポジウムのバナーの皆様がどんな辛い状況の中でも頑張る姿を見て感動し、涙あり笑顔有りの充実した時間を過ごすことができました。「継続は力なり」の言葉のとおり龍JINの継続した活動を応援してくれる人がたくさんいることに感謝すると同時にさらに充実させねばと身が引き締まる思いがしました。。これからも相手に思いを馳せ活動していきます。

次号も紹介する活動内容がたくさんあります。ぜひ楽しみに待っていてください。